

## 外国語(英語)科学習指導案

府中市立府中学園

- 1 日時・場所 令和5年11月16日(木)
- 2 学年・学級 7年3組(男子17名 女子14名 計31名)
- 3 単元名 Unit 7 Foreign Artists in Japan (NEW HORIZON English Course 1)
- 4 単元について

### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領(3) 話すこと[やり取り]イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」ことをねらいとし、設定した。

本単元は、海斗とメグが日本の伝統芸能や伝統工芸に取り組む外国人を紹介する場面と、メグがダイアン吉日さんを通して落語に興味をもち、みんなで講演に行く場面が描かれている。海斗やメグが行う人物紹介をモデルに、人物の紹介の仕方を身に付け、相手とのやり取りを楽しむことができる単元である。

言語材料としては、代名詞の目的格と所有代名詞、Which …?, Whose …?を含む文が扱われている。疑問詞については、これまでも When, Where, Who, What, Howなどを学習している。本単元で新たに学習する2つを含めると疑問詞を一通り学習したことになり、さまざまな疑問詞を活用し、いろいろな質問をすることができるようになる。

これまでの単元(Unit1~Unit5)では、主に自分自身のことについて表現することを目標に学習を進めてきた。そして前単元(Unit6)では、第三者を紹介する表現の仕方を学習した。今までは即興でのやり取りが多かったが、本単元では事実や気持ちを整理してやり取りを行うため、相手にわかりやすく伝えることや相手の話を聞いてそれに関連した質問をするなど、相手を意識した対話が求められる。本単元の学習を通して、さらに相手意識とまとまりのある内容でのやり取りをする力を高めることができる。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、英語の学習に意欲的な生徒が多く、ALTや友達との言語活動も好んで行う。言語活動の振り返りの時間には知りたい表現について積極的に質問する生徒が多い。またその質問には、自分の知っている知識を用いてどのような表現で言えるか考えようとする様子も多く見られ、学級全体で学び合う雰囲気がある。

話すこと[やり取り]については、1学期のUnit2において、話すこと[やり取り]アをねらいとし、対話を継続・発展させる力(①相手に聞き返したり確かめたりする。②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする。③相手の答えを受けて、自分のことを伝える。④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える。)について指導を行った。7月に本学級の29名に対して行ったパフォーマンステストの結果は以下の通りである。

#### 【パフォーマンステストの内容】

ALTとお互いのことをよりよく知るために、お互いの好きなものについて即興で伝え合う。

|   |  | 人数 | %    |
|---|--|----|------|
| a | お互いのことをよりよく知るために、ALTと関心のある事柄について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、誤りのない英文で即興で伝え合っている。                       | 13 | 44.8 |
| b | お互いのことをよりよく知るために、ALTと関心のある事柄について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を即興で伝え合っている。 | 14 | 48.3 |
| c | 「b」を満たしていない。   | 2  | 6.9  |

パフォーマンステストでは、29名中27名は、ALTとのやり取りの中で、好きなものを即興で伝え合うことができた。概ね10(9.6)往復程度のやり取りを行うことができた。一方、2名の生徒については、やり取りの中で沈黙する時間が多く、設定した時間内に自分の好きなものを伝えることができなかった。A評価と評価した生徒には、“Yes, I do.”や“I like dogs.” “Can you play baseball?”などの英文で答えたり質問したりする生徒が多かった。B評価と評価した14名については、自分の好きなものを伝えることができたが、やり取りの中で相手からの質問に単語で答えたり、“Present, want.” “Who, soccer player?”など文の形で話したりすることができておらず、正確性に課題が残る。

また、指導した①～④(①相手に聞き返したり確かめたりする。②相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする。③相手の答えを受けて、自分のことを伝える。④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える。)の力については以下の通りである。

|   |                                      | 人数 | %    |
|---|--------------------------------------|----|------|
| ① | 相手に聞き返したり確かめたりする。                    | 12 | 41.3 |
| ② | 相づちを打ったり、つなぎ言葉を用いたりする。               | 21 | 72.4 |
| ③ | 相手の答えを受けて、自分のことを伝える。                 | 4  | 13.7 |
| ④ | 相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える。 | 23 | 79.3 |

①ができていた12名は、相手の答えをくり返したり、聞き返したりして内容を確認することができていた。②ができていた21名は、“Nice!”や“Me, too.”、“I see.”など相づちをしながらやり取りを継続しようとしていた。③については、4名は“Yeah, I don’t like soba.”のように、相手の答えに自分のことを伝えることができていたが、25名はALTの答えに相づちをうったり質問に単語や1文で答えたりするだけで、その後自分のことを伝えることができなかった。最後に、④を活用できた生徒は23名で、その内18人の生徒は「I like soccer. Do you like soccer?」のように自分のことを話したあとに、相手に質問していた。残りの5人の生徒は、相手の答えを聞いてその答えに関連する質問をすることもできていた。④ができなかった4人の生徒は一問一答のようにALTの答えに関係なく自分の用意した質問を伝えており、2人は質問することができなかった。

### (3) 指導観

生徒観を踏まえ、本単元では以下の点に留意し、指導を行う。

#### ①やり取りを継続・発展させる力の育成

・単元の帯活動として継続して Small Talk を行い、話すこと[やり取り]アの力を高める。

#### ②言語活動への見通しをもち、様々な表現を活用する力の育成

・単元導入時に前期課程(5年生)で学習した“Who is your hero? (NEW HORIZON Elementary5)”を想起させ、言語活動の見通しをもたせるとともに、前期課程で使用した表現や伝えるための工夫等を確認し、既習事項の活用を促す。

③事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話す力の育成

・授業の中で Pair Talk を複数回行い、中間指導として内容の充実やまとまりが見られた生徒の発話を紹介し、学び合えるようにする。また、まとまりのある内容を伝え合うために、自分の考えや気持ちなどを整理したメモに基づいてやり取りさせるなど、段階的に指導する。

④正しい文の形で話したり、質問したりできる力の育成

・生徒のやり取りに対して、教師が正しい英文でフィードバックすることで、生徒が自分の使用した英語について振り返りながら自己調整させる。

⑤学んだ力を活用する場面の設定

・本単元の実際の活用場面として、新しく府中市に派遣された ALT (11名) と交流する「English Day」を企画し、ALT に自分が教えてあげたい人物について紹介し、質問されたことに応答したり、質問をし返したりする活動を設定することで、実際のコミュニケーション場面で本単元での学習事項を活用させる。

5 単元の目標

お互いのことをよりよく知るために、自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

6 単元における評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <p>【知識】代名詞や疑問詞 which, whose を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】人物について事実や自分の気持ちを整理し、代名詞や which, whose などの簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> | <p>自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> | <p>自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p> |

7 単元終了後のパフォーマンステスト

(1) 内容

日本文化に興味を持ってもらうために、ALT にアニメやゲーム等のキャラクターについての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「a」とし、2つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件1:アニメやゲーム等のキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えている。

条件2:ALT の質問に答えている。

条件3:ALT の答えに関連した質問をしたり、自分の考えや気持ちを述べたりしながら会話を継続・発展させている。

|   | 知識・技能                                      | 思考・判断・表現            | 主体的に学習に取り組む態度           |
|---|--|---------------------|-------------------------|
| a | 誤りのない正しい英文で話すことができる。                       | 3つの条件を満たしてやり取りしている。 | 3つの条件を満たしてやり取りしている。     |
| b | 誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。 | 2つの条件を満たしてやり取りしている。 | 2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。 |
| c | 「b」を満たしていない。                               | 「b」を満たしていない。        | 「b」を満たしていない。            |

(3) パフォーマンステストにおける具体的な生徒の姿(思考・判断・表現)

| 評価 a   | 評価 b   | 評価 c              |
|--|--|-------------------|
| <p>S: Hello!</p> <p>T: Hello.</p> <p>S: (写真を見せながら) This is Rukawa Kaede. Do you know him?</p> <p>T: No, I don't. Who is he?</p> <p>S: He is a character of "SLAM DUNK". He is a high school student. He can play basketball very well. He often sleeps. He wants to be a No.1 player. He is cool. I like him very much.</p> <p>T: I see. Is he a main character?</p> <p>S: No, he isn't. The main character is Sakuragi Hanamichi. He and the main character, they are not good friends, but good rivals.</p> <p>T: That's interesting.</p> <p>S: I like basketball. Do you like basketball?</p> <p>T: Yes, I do. But I don't play it,</p> | <p>S: Hello!</p> <p>T: Hello.</p> <p>S: (写真を見せながら) This is Rukawa Kaede. Do you know him?</p> <p>T: No, I don't. Who is he?</p> <p>S: He is a character of "SLAM DUNK". He is a high school student. He can play basketball very well. He often sleeps. He wants to be a No.1 player. He is cool. I like him very much.</p> <p>T: I see. Is he a main character?</p> <p>S: No, he isn't. The main character is Sakuragi Hanamichi. He and the main character, they are not good friends, but good rivals.</p> <p>T: That's interesting.</p> <p>S: I like basketball. Do you like basketball?</p> <p>T: Yes, I do. But I don't play it,</p> | <p>b を満たしていない</p> |

|  |                                       |  |
|--|---------------------------------------|--|
| <p>I just watch it.<br/>S: Oh, really? Which team do you like?<br/>T: I like Dragon Flies.<br/>S: Me, too. I like Nakamura Takuto. He is strong.</p> | <p>I just watch it.<br/>S: I see.</p> |  |
|--|---------------------------------------|--|

8 単元指導計画・評価計画(全6時間)

| 時数 | ねらい(■)・主な言語活動等(丸数字)   | 評価 |   |   | 評価方法 |
|----|---|----|---|---|------|
|    |   | 知  | 思 | 態 |      |
| 1  | <p>■単元の目標を知り、学習の見直しをもつ。<br/>①単元の目標を知る。<br/>②前期課程で使用した表現や伝えるための工夫等を確認し、単元の自己目標と目標達成のための手立てを設定する。</p>   |    |   |   |      |
| 2  | <p>■学校の先生について、ペアで伝え合う。<br/>①学校の先生についての事実をペアで伝え合う。<br/>②教科書の内容理解を通して代名詞の目的格の使い方を確認する。<br/>③再度、①について伝え合う。<br/>A: This is Toyota Kanako. Do you know her?<br/>B: Yes, I do. She is our English teacher.<br/>A: That's right. She plays basketball. She likes Matsumoto Jun.<br/>B: I see. When is her birthday?<br/>A: It's November 24<sup>th</sup>.<br/>B: I see.</p>                      |    |   |   |      |
| 3  | <p>■好きな食べ物について、相手の答えに関連する質問をしながらペアで伝え合う。<br/>①好きな食べ物についてペアで伝え合う。<br/>②教科書の内容理解を通して Which ..., A or B? を用いた疑問文の使い方を確認する。<br/>③再度、①について伝え合う。<br/>A: Which do you like, okonomiyaki or takoyaki?<br/>B: I like takoyaki.<br/>A: Nice. Why do you like takoyaki?<br/>B: I like the sauce. It's delicious.<br/>A: I see.<br/>B: How about you? Which do you like, okonomiyaki or takoyaki?</p> |    |   |   |      |

|   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
|   | <p>A: I like okonomiyaki, especially Fuchu yaki.<br/> B: That's nice. Why do you like Fuchu yaki?<br/> A: It's crispy.<br/> B: I see.</p>  |  |  |  |
| 4 | <p>■持ち物について、関連する質問をしたり、情報を付け加えたりしながらペアで伝え合う。<br/> ①写真を見て誰の持ち物かペアで伝え合う。<br/> ②教科書の内容理解を通して Whose ... is this? を用いた疑問文の使い方を確認する。<br/> ③別の写真を見て、再度、誰の持ち物かペアで伝え合う。<br/> A: Whose pocket is this?<br/> B: It's Doraemon's. He has many good items.<br/> A: I see. Do you want his pocket?<br/> B: Yes! I want to use "dokodemo door." How about you?<br/> A: Me, too. I want it.</p>  |  |  |  |
| 5 | <p>■自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合う。<br/> ①好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどをメモに整理する。<br/> ②好きな有名人についてペアで伝え合う。<br/> ③相手からの質問に対して答えたり、関連する質問をしたりするなど、やり取りを広げたり深めたりする工夫について考える。<br/> ④③を踏まえて、再度、①について伝え合う。<br/> A: This is Togashi Yuki. Do you know him?<br/> B: Yes, I do. He is a basketball player.<br/> A: That's right. He is a basketball player. He is 167 cm tall. His birthday is July 30<sup>th</sup>. He is good at 3 point shooting. And he is a captain of the national team. Do you like him?<br/> B: No, I don't. I like Hiejima Makoto.<br/> A: Really? When is his birthday?<br/> B: Well... I don't know.<br/> A: OK.</p> |  |  |  |

|           |   |  |  |  |   |   |                  |                  |
|-----------|---|--|--|--|---|---|------------------|------------------|
| 6<br>【本時】 | <p>■お互いのことよりよく知るために、自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>①今まで学習したことを踏まえて、自分の好きな有名人について、ペアで伝え合う。</p> <p>②自己目標の達成状況をふり返り、次の課題を明確にする。</p> |  |  |  | ○ | ○ | 観察<br>動画<br>振り返り |                  |
| 後日        | パフォーマンステスト  |  |  |  | ○ | ○ | ○                | 観察<br>動画<br>振り返り |

## 9 本時について

### (1) 本時の目標

お互いのことよりよく知るために、自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

### (2) 本時の評価規準

| 観点            | 評価基準   |
|---------------|--|
| 思考・判断・表現      | 自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。     |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 自分の好きな有名人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 |

### (3) 本時の指導過程と評価

| 学習活動   | ○指導上の留意事項<br>◎評価規準(評価方法)   |
|--|--|
| <p>1 あいさつ</p> <p>2 Today's Goalと本時の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の好きな有名人についてやり取りしながら、工夫して会話を継続することができる。</p> </div> <p>3 会話を継続するためにできる工夫を確認する。</p> <p>①伝わりやすい内容や順序を工夫する。</p> <p>②答えるときには1文加える。</p> <p>③相手の答えに関連する質問をする。</p> <p>4 Pair Talk</p> <p>A: This is Togashi Yuki. Do you know him?</p> <p>B: Yes, I do. He is a basketball player.</p> <p>A: That's right. He is a basketball player. He is 167</p> | <p>○本時が単元の終末であることを伝え、単元の目標が達成できるゴールイメージをもたせるようにする。</p> <p>○発話が難しい生徒には、Jamboardのメモを活用して対話するよう伝える。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>cm tall. His birthday is July 30<sup>th</sup>. He is good at 3 point shooting. And he is the captain of the national team. Do you like him?</p> <p>B: No, I don't. I like Hiejima Makoto.</p> <p>A: Really? Why do you like Hiejima?</p> <p>B: Well... His step is very cool.</p> <p>A: I see. He is a good player, too.</p> <p>5 代表発表・Feedback</p> <p>参考になる表現や答え方をしているペアを指名し、発表する。<br/>発表したペアの Good point を共有する。<br/>言いたかったが言えなかった表現を確認し、全体で考える。</p>   | <p>○ALT も生徒とペアになるように活動に参加する。</p> <p>○言いたかった表現が既習事項で補えることを理解させるために、教科書本文を参照し、既習事項を確認する。</p>   |
| <p>6 Pair Talk</p> <p>ペアを変えて、録画をする。<br/>生徒のやり取りの例 (b 評価)</p> <p>A: This is Togashi Yuki. Do you know him?</p> <p>B: Yes, I do. He is a basketball player.</p> <p>A: That's right. He is a basketball player. And he is a captain of the national team. He is 167 cm tall. He is small but he is good at 3 point shooting. His birthday is July 30<sup>th</sup>. I want to be like him. Do you like him?</p> <p>B: No, I don't. I like Hiejima Makoto.</p> <p>A: Really? Why do you like Hiejima?</p> <p>B: Well... His step is very cool. Do you know "Hiejima step" ?</p> <p>A: Yes, I do. He is a good player, too.</p> <p>※相手の発話に応じて、会話を継続・発展させる。</p> | <p>◎自分の好きな有名人についての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>(観察・動画・振り返り)</p> <p>◎自分の好きな有名人についての事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>(観察・動画・振り返り)</p> |

7 振り返り

自分の Unit2 のパフォーマンステストの動画を見て、前回との違いを確認し、振り返りを書く。

○振り返りの視点を明確にする。

**【振り返り】【Today's Goal が達成できた or できなかった】【なぜ】**

今日は Today's Goal を達成することができた。○○さんの話を聞いて、話す順序を変えたほうが良いと思って変えた。次の△△さんに「話がわかりやすい」と言われたので、伝える順序は大切だと思った。

**【単元の振り返り】**

今日のやり取りは1学期に比べて、単語ではなく文章で答えることができた。なぜなら、これまでたくさんやり取りをしたからだと思う。自分の好きな有名人だったので、話したいことはたくさんあったけど、相手に伝わるようにするには、どの順序で伝えるかをしっかり考えなければいけないことがわかった。まだ、関連する質問が思い浮かばないときがあるので、もう一度疑問詞を使った疑問文を復習しておきたい。

8 あいさつ